

(議事概要)

第2回徳島県観光スポーツ文化庁指定管理候補者選定委員会
〈産業観光交流センター・男女共同参画総合支援センター〉

日時: 令和7年11月6日(木)9時45分～10時40分

場所: 県庁3階 第四応接室

とくしまにぎわい創出共同事業体 提案説明

質疑応答

(委員等)

今いろんなホールができていない状況で、アスティとくしまさんが担う部分ってのはかなり大きいと思う。私も、いろんなイベントをするんですが、会場を取るのが大変。今だとインターネット環境とかもちゃんと整ってるかとか、そういうものを考えますと、アスティさんの会議室が取れたら、「あ、よかった」という感じなんです。取り合いというか、予約の状況とかが非常に難しいと思ってて、その辺、システムでうまくやるとか、今後どのように考えてらっしゃるのかなと。

(申請者)

ホームページの改定をしながら、県内の方、県外の大きい興業主だったりとかが、予約、今の空き状況をですね、ホームページ上で把握ができる。そこから予約のシステムに入っていける形、これはすぐできるものではなくて、段階を追いながら、改定を進めていきたい。お客さまが、より簡単に申し込みができるような形を考えております。

(委員等)

ネット環境、きちっと配信ができる会場ってのが非常に少なくて、困ってる場所なんですけど、その辺について、もっと力を入れていくっていうようなことは考えてらっしゃるんですか。

(申請者)

現状でいきますと、全体的に 100%カバーにはなっていないので、お客さまがより使いやすい環境を整えるところに関しては、順次、進めていこうと思っております。これだけ携帯が普及してる世の中でございますので、会議等々でもお使いになられる Wi-Fi も多くなってくるかと思っておりますので、環境整備は進めていこうと考えております。

(委員等)

私から2点質問させていただきます。今回共同事業体ということで、この3者の役割分担について教えていただきたいです。あと2点目が、今回男女共同参画総合支援センターについて、今までよりも充実した事業計画になっているのか、充実する内容の事業計画になっているのかを、教えていただければと思います。

(申請者)

3者の役割分担について、キョードーファクトリーは、前田三郎さんっていう業界で有名な方が

エンターテインメントを引っ張ってきた会社ですので、四国放送であるとか、徳島県観光協会だけでは引っ張れない、いろんなアーティストであるとか、新たなエンターテインメントというのは、キョードーファクトリーさんに引っ張ってきていただきたい。一方、徳島県内で、アスティとくしまって皆さん分かってらっしゃるけども、実は意外と使い勝手であるとか、中身であるとかが伝わってない部分があって、四国放送というメディアが、アスティとくしまってこういうものですよっていうことをもっと県民に伝えて、イベントによっては、告知をすることで集客にもつなげるって役割。徳島県観光協会は、これまで開館以来ずっと安心安全な施設運営、事故もなくやってこられたっていうノウハウをそのまま引き継いで、安心安全な施設運営をする。これが3者の役割分担だと考えております。

今まで以上の広がりというところですけども、今回、男女共同参画総合支援センター、子ども室の方が新しく施設の運営の中に入ってくる形になりますので、ここをうまく連携させていきたい。イベント、例えばコンサートですとか、大型のイベントがある時に、幼少の子供さんがいらっしゃる、親御さんがどうしても参加できない、行きたいけど参加できないってところを、現状の18時以降も預かれるような形でありますとか、小学生の兄弟がいらっしゃる子どもたちも一緒に、子ども室で、年齢層を拡大してお預かりをさせていただく形で、様々なイベント等に合わせながら、利用したいお客さまが利用しやすい環境整備というものを進めていきたい。大人が楽しむコンサートだけではなくて、子どもも楽しめるような、家族で楽しめるような企画のものを、文化に繋がるようなものも今まで以上に広げていきたいと考えております。

(委員等)

収支計画の収入のところ、自主事業収入がゼロになってるんですけど、これはどういった意味でしょうか。

(申請者)

自主事業として、阿波おどりの観覧だったりとか今までやってきてるものはやらせていただく。今回新しいご提案として、駐車場の料金を、現状一律200円ですけども、イベント開催時には金額を少し上げるというご提案として記載させていただいております。物販手数料ですね、イベント開催した時にそこで販売してるもの、例えばコンサートだったらCDだったりとか、Tシャツだったりとかの販売に対して、販売手数料という形で、収入を得ていく。これは提案の企画の内容になってくるということになりますので、我々としては、そういうものをいくつもやることによって、物価高騰になってる中で、コストを下げていくということになると、どこかに漏れが出てくる、安全対策がおろそかにならないように、全体的な収入を貸し館として、会場利用料だけじゃない収入源を増やしていくことによって、安定化を図りたい。ここは企画提案ですので、自主事業としての金額換算がなかなかできなかった面もありますので、自主事業の収入は0と記載させていただいている。もし我々が指定を受けた場合は、駐車場の利用料金変更だったり、物販の金額だったり、今後、県と調整をさせていただいて収入が増えるよう検討していきたいと考えております。

(委員等)

質問というか、なぜこの事業に乗り出したのか、いわゆるアスティとくしまが持つ魅力はどう捉えられているのか。あと販売手数料とか駐車場の件ですが、特に販売手数料は、県も含めて、他県事例をしっかりと考慮した上で、ここは慎重に検討することをよろしく願いたい。あともう一点。高松のアリーナは、かなりうまく広報活動をやってて、特に事業者じゃない周りのご商売されてる方とか、JR 四国さん中心なんですけれど、コストもかけずに、ちょっとしたサインにするだけとかなんだけれども、それが実は大きな宣伝になってる例があるので、いわゆる広報活動、周りの事業者とか行政も含めて、動かしてほしい。

（申請者）

我々が徳島に、なんでっていう話だったかと思うんですけども、徳島の地理状況から考えても、大阪、関西に向けても窓口になってくるし、徳島の魅力をどう創出すべきか、まだまだあるんじゃないかと我々も思っております。我々が企画の興行主としてやっていく時は、どうしても単発、その時の興行として盛り上がりを出せますという形になるんですけども、徳島を一つの地元として考えて、ここの中にいて、ホールを運営しながら、課題もあるだろうし、どういう魅力発信ができるかっていうところも考え、関西に向けて、それから、四国をまとめて色々と企画を出していく時に、窓口として徳島でやっていく。5,000 人という大きいキャパでもありますし、収容も広く取れますので、我々が少しでもできること、魅力の出し方としてできることがあるんじゃないかっていうところがあって、今回参画をさせていただいた本当の根のところになります。

もう 1 つ、広報というお話のところですけども、確かに今まで、新聞、SNS をお使いになられたりというところで、様々な広報は今でもやられてきてると思います。ただ今回、四国放送さんに参画いただき、四国放送のゴジカルの中で、毎回情報が流せる枠も作りましょうという形で企画させていただいておりますけども、とにかく情報を発信していく、これ特に県内がそうなんです。県外から集客をするために、例えば大阪だったり、四国の各県だったりということに放送していくけど、実は県内の人にはあんまり知らなかったっていうことにならないためにも、もう安定的に情報を常に、ゴジカルの中で出していったり、今度大型のアーティストが来る時には、是非、四国放送に出演いただいて、皆さんで盛り上がっていくような形のものを作っていく、これは 1 回ではできないので、安定的に、常に情報が出てくるよっていうものを、県内に一斉に発信できる、これがテレビの強み、ラジオの強みっていうことになりますので、ここも最大限に使わせていただく。県内の方が盛り上げられるような情報発信をやっていく。あとは県外、特に四国では、四国放送の系列で情報共有ができますので、県外に向けて、こういうイベントがありますよって情報発信を様々やっていくことで、県内だけでなく、県外からも注目が集まるようにしたい。

（委員等）

私からも 1 つ。予約システムですね。今までもアスティは、祝日など人気の日は 1 年前までに応募して抽選っていう形で決まっていたんです。それから、官の事業がある時はそちらが優先で、民間のビジネスが絡むのは後になるとか、様々な条件があって、ますます利用頻度とか高くなる中で、どう整理していくのかというのが 1 つ。もう 1 つは、男女共同参画総合支援セン

ターのところ。毎月かなりの利用があるとかという状況ではなかった。どちらかというと、勉強会とかの利用が主で、男女参画のところに小ホールもありますし、もっと使っていただきたいなというのは非常に思ってた。民間の利用とか、どこまで許されるのかどうかとか、今後、一体的な運営になって、本ホールと、男女参画の方を使ったイベントとか、あまり聞いたことはないので、一体的に使う可能性はあるのかどうか、そこをお願いしますでしょうか。

(申請者)

予約ですね。どうしても繁忙期の土日祝日は抽選になったり、これはしょうがないのかなというところはあるんですけども、現状 5,000 人のキャパ、かなりキャパのサイズが大きいので、それを例えば 3,500 人とか小さくすることによって、利用料金を少し減額する、これによって平日だったり、閑散期に入ってくるところに移動ができることによって、会場の利用料を下げる、人数によって下げるとかっていう形で、少しでも広がりが見れるような形ってというのは取っていきたいなと思っております。稼働率を上げていこうとすると、土日は最初に埋まっていて、平日がなかなか空きが出てくるって形になりますので、そこを少しでも早めに、官の事業だったりとか、県の事業だったり、もうどうしても先に最優先ということにはなってくる場合もあるので、順番的なところだったり、ホームページのシステムを組んで予約の仕方、皆様が利用しやすいような環境を整えていくっていうのが 1 つかなと思っております。

あとは男女共同参画のエリア、おっしゃるように、私もちょっと地味だったなと感じてます。アスティのいろんな小会議室って意外と使い勝手も良かったり、ホテルを借りるより安かったりするんです。それは我々も勉強するまで知らなかったもので、四国放送で取材をして、アスティこういう使い方できますよ、こんなホールがありますよ、そういうのをもっと県民の皆さんに使い勝手がいいんですよと今回を機に紹介できたらなと考えております。